

第 2 回 富山地区学校再編検討委員会次第

日時 平成 21 年 1 月 28 日 午後 7 時

場所 富山公民館 2F 講義室

1. 開会

2. あいさつ

3. 議事

(1) 幼稚園、小学校の位置について

(2) 個別合意事項について

① 通園、通学支援について

② 園児、児童の交流事業について

③ PTA 組織と行事について

(3) 第 3 回検討委員会の日程について

4. 閉会

第2回富山地区学校再編検討会議 会議録

平成21年1月28日(水) 午後7時

富山公民館 講義室

記録者 小磯英明・満平恒一

欠席委員 なし

1 開会

2 挨拶

(長谷川委員長)

(青木教育長)

学校再編の取り組みは、3地区を同一歩調で進めている。

前回、再編について合意を得た。今回は細かい具体的内容について話し合っていたきたい。

3 議事

事務局 設置要綱第7条第1項により、委員長が議長となる。

本日の検討委員会に傍聴の申し出はなし。また、本日の出席委員は19人全委員の出席ですので、会議は成立する。

委員長 これより議事に入る。議案第1号「幼稚園および小学校の位置について」を議題とする。事務局より説明を求める。

事務局 資料により説明

・児童数・学級数

平成21～26年度の推移について、学級数は県の学級編成基準による。

・施設の概要

前回の学区図と今回配布資料を合わせて説明。

校舎の建設年次、富山地区内の地理的立地状況。

委員長 協議に入る。位置について委員の方々の意見を求める。

委員 校舎は44か45年経っている。健田小とほぼ同じ。建て替えた学校は
どういう基準か。

事務局 改築しているのは耐力度が不足し、補強できないものである。年数より

も耐震診断による。

委員 示された資料は平成9年の診断だが、いつまでも同じ耐震強度があるのか。また、この地区には断層帯があることも考慮した方がよい。

ワザンバー 耐震補強されたものは、必要な強度は維持されていると聞いている。

しかし、新築された健田小はすばらしい施設。同じ条件にしてやりたい。合併するのだから建て替えをすべきだと思う。

事務局 現在の計画では、耐震度が確保されている建物は使う方針。

ワザンバー 同じ市内で不公平なことはすべきではない。

委員 第1期が耐震補強、第2期となっていた健田が先に新しい校舎を建てた。合併するのなら建て替えを検討してほしい。

事務局 再編全体計画は19年度に策定した。施設整備の状況については整合性が取れない面もある。第3期の中学再編計画は具体的に示していない。この計画と合わせて整合性を取っていく。

幼稚園・小学校については、2施設のいずれかを使った再編を推進する中で、整合性を図る。

委員 再編は仕方ないと決まったが、岩井、平群どちらにしても建物が不安。

委員 市内の活断層は岩井から嶺岡にかけて集中している。富山地区に多く、健田地区は少ない。子どもたちのために、安全を抜きにして再編は難しい。

事務局 市町村合併の18年3月以降、新しい学校施設整備計画は出ていない。健田小は合併以前の計画で建設した。

委員 幼稚園の資料も示してほしい。

事務局 次回示させていただく。

ワザンバー 合併止むなしならば、平群よりに、富山中の近くに集めて、よりよい環境を作る形が一番よい。大型車が通れない道路環境を改善し、子どもに安全な措置を取るべき。同じ市内で不公平がないよう、同じ環境になるよう、計画を作り直してもらいたい。

委員 岩井小学校周辺は、通学の安全の点から道路が整備されていない。整備を後にせず並行して進めてほしい。

委員 耐震性、安全性の向上を図り、児童の生活環境向上も含めて計画を立ててほしい。岩井小は2階にトイレがないので、整備が必要である。

事務局 何年後に作るという具体的な計画はないため、個々の整備事業については、この場で回答する資料がないことをご理解願いたい。

ワザンバー 合併特例債の活用を含めて、教育施設整備計画を検討して行けないのか。和田中体育館、健田小、白浜中は建て替え。朝夷地区と比べて富山地区の保護者も強い要望を示していく方がよい。

委員 中学再編があれば学校がどこに行くかわからないが、統合された小学校はずっと残る。教育環境をきちんと整えることを意識した方がよい。

委員 岩井小はバスが停められない。過疎が進む中、子ども達のために、安全の確保が必要。

事務局 建てるとなると耐力度調査から短くて3年から4年かかる。平成28年頃になってしまう。

委員 建てれば長く使える。

委員 合併が決まってから整備を進めるというのでは遅れる。バスの整備も同様。現時点から同時進行で協議・検討してほしい。

ワザンバー 新しい校舎を建てるということで合併の議論を行ったらどうか。

事務局 学校環境、学習環境整備の意見が出た。子どもの数が極端に減少したことから、統合問題が出てきた。施設については中学の再編計画と合わせて整合性の取れた整備を図る。引き続き検討していきたい。

教育長 活発な意見や議論、ありがとうございます。これまでの施設整備は、旧町村の引継ぎ事業のみを行ってきた。

新市としての事業計画は、議会の合意を図る必要がある。新規事業として、給食センターの新築を予定している。中学再編は見通しがとらえ切れていない。急いでやると取り返しがつかない。

小学校では少人数になったため、集団学習ができないなど、学習上の弊害が出てきている。苦肉の策として2校を1校にする計画が出た。合併しても大規模校ではない。10年後にはさらに減る可能性がある。

合併特例債も3割が借金で市民の負担。節約するところは節約し、使うところは使う。

みなさんで議論して、将来市が破綻することがないようにしたい。

今回は幼稚園・小学校の再編に焦点を当てて検討してほしい。

ワザンバー 10年15年先のことを断言できる時代ではないが、最初から差をつけては、子ども達がかawaiiそう。合併の申し送りを旧富山町はやっていない。他はやっている。不公平ではないか。安全という面から考えてもらいたい。

委員長 学校の位置については、施設状況とともに引き続き検討するということが次に進みます。

第2号議案「個別合意事項について」を議題とする。事務局より説明を求める。

事務局 通園、通学支援について

・スクールバス運行を前提に検討していきたい。保護者を交えた他の部会を作って検討する。次回提案する。

児童交流事業について

・早い段階から交流事業を進め、スムーズな統合を図りたい。1年またはもっと長い期間をかけて、交流事業を継続する。学校の活動、社会体育のスポーツ団体の活動を通して推進を図りたい。交流事業について、次回以降提案する。

委員長 P T A組織と行事について、事務局より説明を求める。

事務局 本来は2つの学校、P T A間で話し合う事項が中心となるので、場を設けて十分な審議ができるよう支援していきたい。

委員長 質問などはないか。

委員 質問なし。

委員長 第3号議案「第3回検討委員会の日程について」を議題とする。

2月20日（金）午後7時からどうか、委員各位に図る。

委員 異議なし。

委員長 次回会議は、2月20日（金）午後7時から富山公民館とする。

以上で議事を終了する。

4 閉会